



図書館だより

令和2年6月

広尾学園中学校・高等学校 図書館

司書教諭 曾我部

★ 図書リクエスト、はじめました！

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常生活が戻りはじめています。そこで学校の図書館でも手はじめに「図書のリクエスト」(購入希望)から再開することにしました。書店で気になったあの本を読みたい！この本の続きが読みたい！授業で紹介された本を図書館に入れて欲しい！など本の購入希望から、受験や探求活動に必要で揃えて欲しい本の相談や、探している本が図書館の蔵書にあるかの問い合わせまで。(ないときは公共図書館から取り寄せることもできます)

下記の「**図書リクエスト**」(Google フォーム) から受付けています。

<https://forms.gle/iqaD56FKWf1LhzU28>

本に関することならなんでも相談してください。



★ データベース利用期間延長のお知らせ

図書館のデータベースについて。一時的に外部(自宅)からでも利用できる臨時 ID/PW を5月31日までの期限付きで発行していただいておりましたが、有難いことに下記2社から利用期間延長のご連絡をいただきました。ID/PWはそのまま利用できるそうです。正しい情報・知識を身につけるツールとして、引き続き自宅でも活用してください。

- ・「朝日けんさくくん」 6月30日まで延長
- ・「ジャパンレッジ Lib」 8月31日まで延長

※ 学園 HP 右側「けやき募金」の下に「広尾学園図書館」というバナーがあります。そこから図書館のページに入るとデータベースを見ることができます。

★ 「カラフル」(森絵都)もついに…

2020年にデビュー30周年を迎えた作家:森絵都の作品は子供から大人まで様々な世代の読者に広く愛されながらも、今まで限られた一部の作品しか電子化されていませんでした。

しかし前号でご紹介したミステリー作家:東野圭吾同様、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で書店の休業が増えるなか、直木賞受賞作「風に舞いあがるビニールシート」や100万部を超えるベストセラー「カラフル」など文春文庫に収録された8作品が電子書籍として刊行されました。「紙の本への愛着がありいつかは…と思いながらも電子化をぐずぐずと先延ばしにしてきた」「読むものが欲しい、でも買いに行けないという方達に届いて欲しい」という著者のコメントからも読者への想いが伝わってきますね。森絵都の世界をぜひ電子書籍でも味わってみてください。 ~その他ラインナップ~ 『架空の球を追う』『君と一緒に生きよう』『この女』



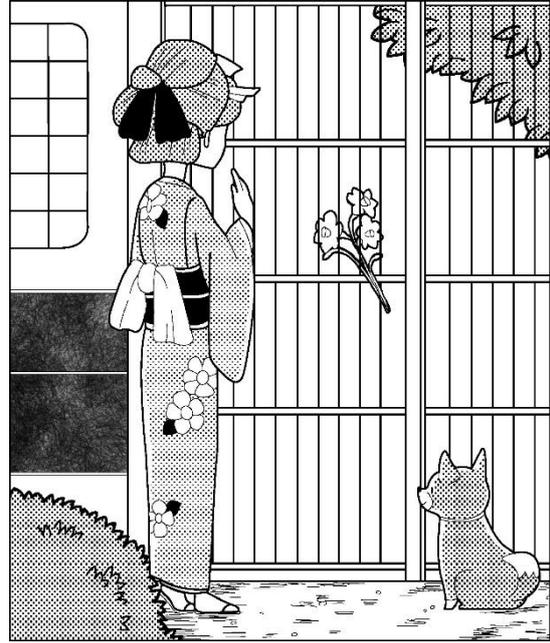
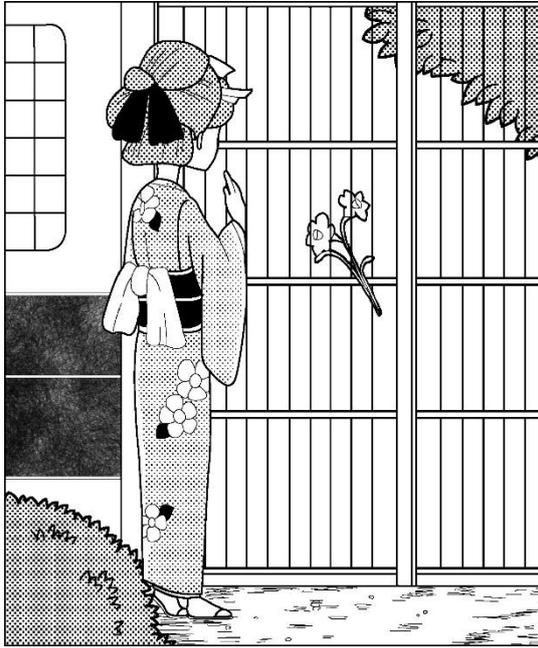
『異国のおじさんを伴う』『漁師の愛人』『出会いなおし』

『たけくらべ』

文学まちがい探し

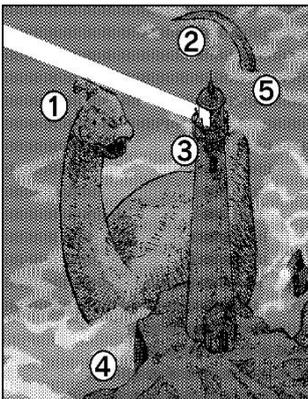
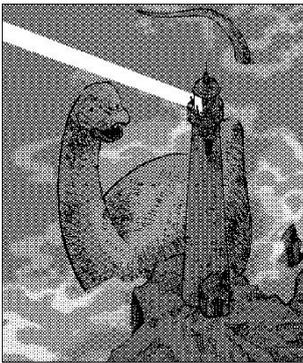
下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください

霜が降りた朝、美登利は玄関の格子戸に誰かが挿した水仙を見つけます。彼女はなぜか懐かしい気持ちになり、清らかだけれどどこか寂しげなその花を眺めるのでした。無垢な子ども時代への別れと追憶が象徴的に描かれたラストシーンです。



『霧笛』の まちがい探しの答え

①頭部 ②尻尾 ③窓の大きさ ④岸
辺の形 ⑤潮の流れ



『たけくらべ』

樋口一葉

主人公の美登利は遊郭で知られる吉原の近辺の町に暮らす勝ち気な少女で、お寺の息子である信如に淡い思いを抱いています。お互いに意識するあまり、誤解やすれ違いが続く初恋がういういしく描かれます。しかし、いつまでも続くと思われた子ども時代はいつしか過ぎ去り、美登利は遊女になり、信如も寺を継ぐために仏門に入り、二人の道は離れてゆきます。

本作は擬古文で書かれていて一文が非常に長く難しく思えます

す。しかし慣れてくると流れるようなリズムでつづられた文章に日本語本来の美しさがあることに気づきます。その魅力は音読してみるとよくわかるでしょう。

樋口一葉(一八七二〜一八九六)

は一四歳で歌塾に入りその才を見いだされ、流行作家の半井桃水に師事して小説『闇桜』で文壇デビューします。スキャンダルで桃水のもとを離れた後『ごりえ』『十三夜』など、名作を次々に発表しました。一葉はお札の肖像画でも知られますが、晩年は貧困に悩まされ、結核でわずか二四歳で早世しました。

間違い探しの正解は次回の図書館だよりに載せます☆